



【1面より】
職場では、リニア建設のための効率化、強権的な労務管理が行われている。一方的な休日出勤が始まって以降、会社は「早期に解消するスタンスである」との姿勢を転換した。休日出勤の全て権限は社員の側にあるということをはッキリさせ、その権限を私たちに取り戻すために、一方的な休日出勤の解消のための闘いをつくり出していかねばならない。

年休問題では、年休を申し込んでも年休が取れず流してしまい、特に若手社員から不満の声が上がっている。年休が入らない場合、会社の時期変更権の行使において労働基準法違反がまかり通っている。JR東海労全体の闘いとしていかなければならない。

6月12日、2005年に大阪台車検査車両所分会が申し立てた職場内での

のビラ配布に対する会社の介入や掲示物撤去の行為に對して争っていた事件で、最高裁判所は会社の上告を棄却し、不当労働行為が確定した。これで私たちは最高裁で8件の不当労働行為の勝利を勝ち取った。この件数が示すように、JR東海労への弾圧と介入がいかにも異常であったのが明らかされた。

本部、新幹線関西地本、大阪作業検査車両所分会は、6月12日組合掲示物の不当撤去及び団交拒否に對して、不当労働行為として大阪府労委に救済申し立てを行った。このような職場からの闘いを教訓にしながら、各分会から闘いをつくり出して、職場に発生している問題に對する闘いを通じて、組織拡大を実現していこう。

60歳以降の継続雇用の闘いにおいて、2月15日、50名を超える組合員が田城参議院議員とJR総連の協力を得て、民主党や厚生労働省、160名を超える国会議員への要請行動を行ってきた。また5月28日にも、JR総連の仲間の協力と全組合員で取り組んだ再雇用条件撤廃に向けた署名を厚生労働省に提出し、法整備を強く要請してきた。個人署名3万9542筆、団体署名878筆を勝ち取った。恣意的なボーナ

JR東海における不当労働行為が8件というところで、社会的に広く訴えるなど社会問題としての闘いを提起したい。

消費増税をめぐる、超党派の国会議員117名が出席し900人規模の反対集会が開催された。しかし、報道されなかった。

大飯原発の再稼働問題で野田首相は「責任を取ると言ったが、福島第一原発事故の責任は誰も取れない。物理的に取れないのである。原発



田城郁参議院議員

多くの「来賓からの連帯挨拶

スカットを許さない闘いとして、また全ての組合員が65歳まで雇用を実現するために職場からの闘いをつくり出していかねばならない。

リニア中央新幹線反対の闘いは、住民の方々と連携し大きな広がりをつくり出してきている。週刊『プレーボーイ』6月11日号に「夢のリニア新幹線は第二の原発か」と題した記事が掲載された。日本共産党は、党として建設反対の見解を

『赤旗』で明らかにした。会社は、2014年着工予定で準備を進めている。更なる広がりを実現し問題と併せて進めていこう。

野田首相は16日、大飯原発の再稼働を決定した。福島原発事故の原因はまだ解明されていない。政府としてまずやるべきことは、被災者の生活を守り、原発事故の原因を明らかにし事故対策を進めることであり、原発の再稼働ではない。再

稼働反対、原発反対の闘いを平和を守る闘いと結合して、JR総連と共に闘いを進めていく。

私たちは、松崎さんがつくり強化してきた労働運動の質を、JR総連の仲間と共に東海の地において、継承していくことを決意した。いま職場では、人格無視の社員管理と労務管理が横行し、その中で多くの若者が苦しんでいる。職場での現実にしつかりと目を向け、共に奮闘していこう。



JR総連 武井委員長

JR東海労結成以来、20年は弾圧との闘いであった。職場からの闘いで跳ね返してきたことに、敬意を表します。JR浦和電車区事件で最高裁判所は、全く審議せず決定を下した。法の番人たる任務を自ら放棄した。え

ん罪で苦しむことがない社会を目指し闘う。小林よしのりが何と脱原発論を展開している。いま、福島第一原発4号機が危機である。もし事故が発生すれば、東京には住めなくなる。大飯原発の再稼働は許されな

とリニアがリンクしていることも訴えたい。美世志会や加藤誠二さんは、えん罪として犯罪者とされた。名誉回復の取り組みをしなければならぬ。日本の再審制度

では20年もかかる。英国では、CCR C(独立行政法人「刑事事件再審委員会」という第三者機関がある。日本版CCR Cをつくりたい。

今、ガン保険の見直しを行っている。ご協力をお願いしたい。

JR東海労組合員であり、ファミリィ分會でもあるが、弾圧・えん罪を許さず、共に闘っていき

最高裁判所の決定文は、2と6がゴム印だった。最初から決まっていたというのだ。2月7日にはJR連合の定期中央委員会があり、明らかに意図的だ。戦争とえん罪を許さない社会を目指し、共に闘おう。



美世志会 梁次邦夫さん



鉄道ファミリィ 石川営業部長



スパイ糾弾訴訟原告団 伊藤明男さん

スパイ糾弾訴訟の証人尋問は2回が終わり、次回原告団証人の反対尋問となる。富本さんの証



言が印象的であった。スパイたる所以は、嶋田一味がJR浦和電車区事件で「逮捕されて当然、裁判をやることは背筋が寒くなる」と言ったことに尽きる。



JR東海労OB会 宇留生会長

前鈴木会長の後任となり、奮闘していく。一年のたしる選挙では、OB会として最大限取り組んできた。4年後の選挙で再選を目指し準備を進めていく。

職場からの闘いをつくり出すぞ!

14名の代議員が実践的発言

◆最高裁で不当労働行為が確定した。労働界においても画期的勝利だ。しかし、掲示物撤去は繰り返されている。もう1歩踏み込んだ闘いが必要である。

◆紀伊長島駅の乗務員配置廃止で、乗務員運用が非効率的になった。紀伊長島駅の乗務員配置は必要だ。伊勢運輸区では組合員4人であるが、組合員4人ではない。設置の取り組みを行う。

◆報復処分撤回裁判は7月11、13日に証人尋問が行われる。最大限結集する。役員を狙い撃ちにした一連の攻撃を許さない闘いをつくる。

◆駅の無人化、3両編成の列車を2両編成ワゴン化、年休が入らない、休日出勤などの問題が発生している。解決に向けて闘う。

◆リニアへの投資額が年々増えている。その一方、地方線は災害が相次いで。対策をしていけば防ぎ止めたはずだ。

◆出勤遅延が連続し、会社は「明けで何をしていたか」「布団に入ったか」というアンケートを実施した。行き過ぎた行為だ。

◆退職しても組合員資格を続けたい組合員がいるが、規約上可能か。

◆言いがかりで日勤再教育となつた。管理者は再教育になつた理由を明確に答えられない。

◆引上線運転時分の問題を安全問題として闘った。

◆年休、休日出勤問題は、労働者の権利を流されたを受け止めよう。

◆若年出向に出されている組合員が、会社から出向延長が強要された。明らかに協約違反である。許してはならない。

◆労働委員会の闘いは大詰めを迎えている。OBとの連携を取りながら闘ってきた。この闘いを通じて、仲間の信頼関係を強化してきている。

◆年休問題は労基法違反

◆年休、休日出勤問題は、労働者の権利を流されたを受け止めよう。

◆若年出向に出されている組合員が、会社から出向延長が強要された。明らかに協約違反である。許してはならない。

◆労働委員会の闘いは大詰めを迎えている。OBとの連携を取りながら闘ってきた。この闘いを通じて、仲間の信頼関係を強化してきている。

◆年休問題は労基法違反



議長団の小原敦(左)小林(右)両代議員



4本の基調を当面進めていく。職場闘争を通じて、組織拡大を実現しよう。新大阪駅引上線の運転時分30秒増獲得の闘いが教訓点となる。

年休が取れないことや休日出勤が当たり前になつてしまつて、慣らされてしまつてはならない。今大会で、新たな闘いに打って出ることが確認された。具体的な闘いについては、代表者会議で議論していく。



現実に流されず、闘う体制を確立しよう!

小林書記長総括答弁

退職しても組合員であることは、中央執行委員会で確認できれば可能

として捉えよう。休日出勤はこのままで良いのかという議論をつくる。

◆労働委員会の闘いで組織が強化された。その一方で、三重の職場では組合員が5人とつものな闘い。会社は5人と言いが、何に基づくものなのか明らかでない。

◆掲示物撤去、団交拒否で労働委員会に申し立てた。しっかりと闘う。

◆反原発の闘いを取り組んできた。今後も私たちが

が先頭になつて闘う。

◆日本共産党がリニア反対の見解を明らかにした。国労組合員にもこのことを訴えてきた。

◆60歳以降の雇用確保の闘いで、労働条件改善とセットで進めてきた。

◆特別勤務手当戻入が発生した。申し入れや情報発行、会社に謝罪を求めた。しかし、会社は「乗務員に責任がある」と責任転嫁した。許さない闘いをつくる。

で、規約上は問題ない。JR東海労の存在価値を職場から示そう。基本協約改訂の闘いに向け、奮闘しよう。国鉄改革25年、こんな職場にしたのは葛西会長である。職場からの闘いを精一杯やる。

その他ご出席頂いた来賓の皆さま
JR総連榎本副委員長、同萩原副委員長、同出村書記長、同東海林政策部長、鉄道ファミリー加藤営業担当部長、田城郁事務所・島山秘書、組織強化委員会・伊藤勝さん、スパイ糾弾訴訟原告団・舟山守夫さん、同京力正明さん

メッセージ(順不同)
北海道旅客鉄道労働組合、東日本旅客鉄道労働組合、JR西日本労働組合、日本貨物鉄道労働組合、ホテル聚楽労働組合、ソフトバンクテレコム労働組合、鉄道総合技術研究所労働組合、情報システム労働組合、(株)鉄道ファミリー、関ヶ原町議会・楠達夫議員
大変ありがとうございました

2012年度役員	(担務は第1回中央執行委員会で決定)
執行委員長	淵上利和 東京第二運輸所
執行副委員長	藤原昌巳 大阪台車検査車両所
〃	木下孝尚 藤枝駅
〃	高原順哉 土岐市駅
〃	船出信政 大阪台車検査車両所
〃	成田隆浩 新幹線地本
〃	山本繁明 静岡地本
〃	山田哲也 名古屋地本
〃	小林國博 新幹線関西地本
書記長	小林光昭 東京第一車両所
企画部長	木下和樹 東京第一運輸所
組織部長	上杉勝文 大阪修繕車両所
組織担当部長	斉藤孝紀 東京交番検査車両所
業務部長	本橋浩司 東京仕業検査車両所
教宣部長	高山浩 沼津運輸区
法対部長	柳楽関 大阪仕業検査車両所
調査・サークル部長	加藤光典 東京第二運輸所
会計監査員	土屋浩一 三島車両所
〃	水野成明 中津川駅
〃	小枝俊久 大阪仕業検査車両所

退任
上田 和宏
研修サークル部長
お疲れさまでした

関西L行政訴訟最高裁勝利！ 謝罪文手交！

6月12日最高裁判所で会社の不当労働行為が確定した関西L行政訴訟（大阪台車検査車両所分会における掲示物撤去、職場内組合活動等の事件）の謝罪文手交が19日に行われました。本部は淵上委員長、新幹線関西地本は小林委員長、大阪台車検査車両所分会は西村分会長がそれぞれ会社から手渡されました。



淵上本部委員長



西村分会長



小林地本委員長

過去最高裁で不当労働行為が確定した事件(申立順)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. リューズ事件 (脱退懲懲) | 2006年12月8日 |
| 2. つぼ八事件 (脱退懲懲) | 2008年3月18日 |
| 3. ノート裁判 (組合への介入等) | 2006年6月8日 |
| 4. 中津川事件 (脱退懲懲、掲示物等) | 2007年12月25日 |
| 5. 関西C (掲示物不当撤去) | 2008年11月25日 |
| 6. 関西F (掲示物不当撤去) | 2008年11月25日 |
| 7. 関西K (掲示物不当撤去等) | 2010年3月16日 |
| 8. 関西L (掲示物、介入等) | 2012年6月12日 |

平成24年6月19日

ジェイアール東海労働組合
中央執行委員長 淵上 利和 殿
ジェイアール東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博 殿
ジェイアール東海労働組合新幹線関西地方本部
大阪台車検査車両所分会
執行委員長 西村 泰弘 殿

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役 山田 佳臣 殿

①当社が貴組合新幹線関西地方本部大阪第三車両所分会の組合員である笹田伸治分会書記長が平成17年3月16日の業務指示に従わなかったことを理由として、同月17日及び同月18日の1日半にわたり事情聴取を行うとともに願末書の提出を求め、同書記長に就業規則の書き写しを命じたこと、②同月22日及び同月23日に、貴組合新幹線関西地方本部大阪第三車両所分会の組合掲示板から、掲出中の下記2点の掲示物を撤去したことは、中央労働委員会において、労働組合法第7条第3号の不当労働行為であると認定されました。

今後このような行為を繰り返さないようにいたします。

記

- (1) 平成17年3月22日撤去の見出し「いま、JR東海会社で日常的に行われている『パワーハラスメント』って何?!」の掲示物
- (2) 平成17年3月23日撤去の見出し「いま、JR東海会社で日常的に行われている『パワーハラスメント』って何?!」の掲示物

以上

掲示物撤去・団交拒否を許すな！ 大阪府労委に救済申立！

6月12日、本部・新幹線関西地本・大阪仕業検査車両所分会は、会社から繰り返される組合掲示板からの不当な掲示物の撤去及び、それにかかわる団体交渉の開催拒否に對して、大阪府労働委員会に不当労働行為の救済申し立てを行いました。



決意表明する柿本分会長

同日、新幹線関西地本は、組合員約60名を結集し、地労委闘争勝利に向けた決起集会を開催しました。集会には、各地本の代表者も駆け付け、職

6月26日、東京地区分会は「山本さんへの強制出向延長を許さない6・26抗議集会」を開催しました。集会には、新幹線地本の仲間60名が駆けつけました。

山本さんの若年出向は14年間にも及び、山本さんは元職場である車両所を希望しています。6月末に出向期限が切れることから、会社は3度に行ったり山本さんとの面談を行いました。しかし会社は、本人の希望を無視し、SMT(新幹線メンテナンス東海)への出向延長ありきで進めようと画策してきました。

集会で山本さんは、「会社は車両所に戻さないために、私が車両所で務まらないかのようにこじつけをしてくれている。希望を何ら聞こうとしない。仲間や家族と相談した結果、裁判闘争に打って出ることにしました。ご支援よろしくお願いします」と

山本さんを 元職場に帰せ！ 東京地区分会が抗議集会開催

力強く決意表明をしました。東京第一運輸所安久沢副分会長、東京第二運輸所庭山分会長、東京車両所松井分会長が駆けつけ、それぞれ連帯の挨拶を行いました。



決意表明する山本さん

場からの闘いと併せ、会社の不当性を社会的に明らかにするために断固闘うことを意思統一しました。